

全69漁港のうち60漁港が被災

①地盤隆起が顕著な地域

- ・地盤隆起が顕著な輪島市、珠洲市の16漁港のうち、13漁港について陸揚げ機能を回復。復旧方針が決まった14漁港について本復旧に順次着手（残る2漁港については、近隣の漁港で機能を代替する方向）。
- ・狼煙漁港（狼煙地区）においては直轄代行工事により一部泊地の浚渫工事や岸壁の仮復旧を完了し、避難機能及び陸揚げ機能を一部回復。令和8年3月に岸壁の一部供用開始。R9年度までの復旧完了を目指す。

②地盤隆起のない地域

- ・地盤隆起のない地域では、44漁港全ての漁港で陸揚げが可能。順次本復旧工事に着手し、着手後概ね3年間（R9年度まで）で復旧工事の完了を目指す。

大沢漁港（輪島市）

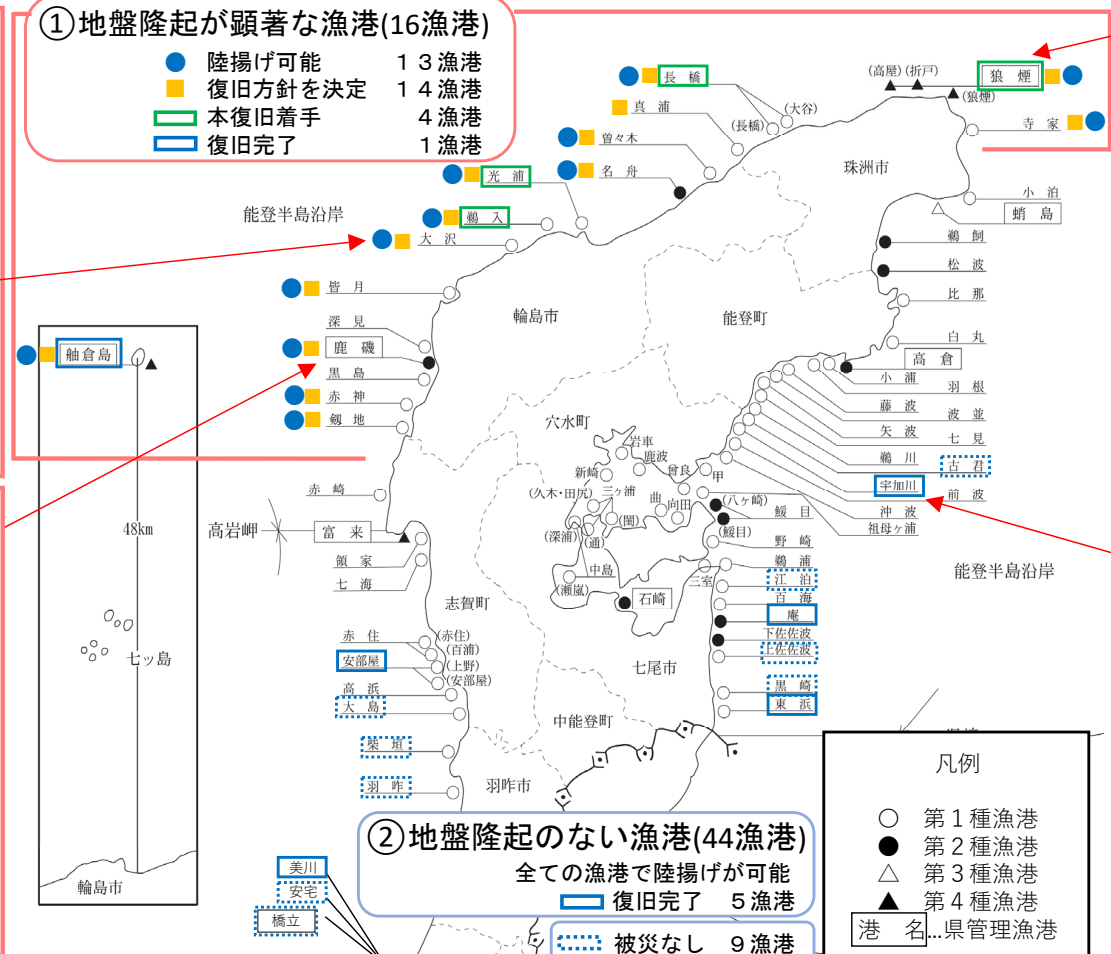


仮復旧事例：泊地の掘り込み、船揚場の前出しにより、陸揚げ作業が可能となった。

鹿磯漁港（輪島市）



仮復旧事例：物揚場、船揚場の前出しにより、陸揚げ作業が可能となった。



狼煙漁港（珠洲市）【直轄代行工事】



本復旧事例：岸壁の前出しにより、陸揚げ作業が可能となった。

宇加川漁港（穴水町）



復旧が完了し、漁港内の全ての施設が利用可能となった。